

看護部日記

患者さんの不安や緊張が和らぐよう コミュニケーションを大切にしています

ICUは、心臓や肺、脳の手術後や救急室からの重症の患者さんを受け入れている病棟です。一般病棟とは異なりICUは、患者さんやご家族にとって不安や緊張が強い環境だと思えます。患者さんやご家族の気持ちを考え、少しでも不安や緊張を和らげたいとスタッフ全員で心がけ、コミュニケーションを大切にしています。



心臓や肺、腹部を手術した多くの患者さんが、手術の次の日には点滴や酸素、管を体に留置した状態でベッドから離れ歩行しています。数年前には考えられなかった事では、医師、看護師、理学療法士が早期回復に向けて取り組んでいるからこそ実現していると思えます。ベッドから離れることは、患者さんにとって手術後の合併症予防につながり、また、ご家族にとっては回復に向かっているという安心感を得ることが出来ます。歩行後に行っている名物ケアがあります。それは「足湯」です。窓際で外の景色を見ながら行うことでリラクゼーションができ、歩行の疲労を癒し、



ICU
栗城みどり

血行促進につながります。患者さんからは「ICUでこんな事をしてもらえるの？」との声が聞かれます。手術後で緊張されていた患者さんから笑顔がみられたり、足湯をきっかけに会話が弾んだりします。状態によっては行えないこともありますが、歩行された患者さんばかりでなく、可能な限り手や足を洗ったり、髪を洗ったりケアを行うようにしています。

ICUに勤務して8年になります。これからも患者さんが早期に回復し、1日でも早く家族のもとに帰ることが出来るようお手伝いしていけたらと思います。

上司から一言



ICU 課長
川島修

ICUは急性期の患者さんを中心に集中して治療をさせていただく病棟です。

急性期の患者さん、家族の方は、不安・緊張でいっぱいの中、入院してこられます。少しでも不安、緊張が和らぐように患者さん、家族とのコミュニケーションを大切にしています。

栗城さんはICUに勤務して8年です。ICUではリーダー的存在で、昨年の東日本大震災の時も迅速な対応をしてくださいました。いつも、先々を読んだ心配りを心がけ、さりげない気遣いをしてくれます。

今後も相手の気持ちを理解した対応と、後輩の育成に励んでほしいと思っています。